

101-159

問題文

呼吸器系に作用する薬物に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. チベピジンは、咳中枢に作用せず、気管支を拡張させて鎮咳作用を示す。
2. モンテルカストは、核内受容体に作用し、気管支ぜん息に伴う炎症を抑制する。
3. アンブロキシールは、ブロムヘキシンの活性代謝物であり、肺サーファクタントの分泌を促進させる。
4. アセチルシステインは、気道粘液のムコタンパク質のジスルフィド結合を開裂して、去痰作用を示す。
5. フルマゼニルは、肺伸展受容器を選択的に抑制し、鎮咳効果を示す。

解答

3, 4

解説

選択肢 1 ですが

チベピジン（アスベリン）は、非麻薬性中枢性鎮咳薬です。咳中枢を抑制する鎮咳薬です。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

モンテルカスト（シングレア、キプレス）は、LT 受容体拮抗薬です。核内受容体に作用するわけでは、ありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3,4 は、正しい選択肢です。

選択肢 5 ですが

これは、ベンゾナテートに関する記述です。ちなみに、フルマゼニルは、Bz 系薬物に特異的な解毒薬です。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 3,4 です。